

国立病院機構熊本医療センター

No.239



# くまびょう NEWS

NHO KUMAMOTO MEDICAL CENTER KUMABYO NEWS

発行所  
国立病院機構熊本医療センター  
〒860-0008  
熊本市中央区二の丸1番5号  
TEL (096) 353-6501(代)  
FAX (096) 325-2519



## 本年度も臨床研修医を迎えました

今年もフレッシュな新研修医を24名迎えました。研修コース毎の内訳は、総合臨床研修プログラム14名（定員15名）、プライマリケア臨床研修プログラム3名（定員3名）、歯科医師臨床研修プログラム1名（定員2名）、および1年次協力型として熊大Cプログラム2名、2年次協力型として熊大Aプログラム4名になります。当院持ち上りの2年目19名（総合臨床研修プログラム17名、プライマリケア臨床研修プログラム2名）とあわせて総勢43名と過去最大の大所帯になり、現在医局は大変活気に溢れ、若い力がみなぎっています。4月3日から約10日間に渡って実施されたオリエンテーションやガイダンス、新任職員宿泊研修・患者接遇マナー研修、および各部門別の実習も終了し、現在、各診療科での臨

床研修が開始されたばかりです。新研修医の初々しく率直な振る舞いに、自らを顧みる良い機会にもなり日々の診療に元気をわけてもらっています。当院での研修を希望した皆の期待を裏切らないよう、より良い研修プログラムの構築を目指して努めて参りたいと存じます。

また、本年度も地域密着型の地域医療研修につき、協力施設の先生方をはじめ地域の先生方に厚くお礼申し上げます。地域医療の現場を体験することは研修医にとって不可欠であり、自身の将来像を探す大事な機会になります。いろいろとご面倒をお掛けすることと思いますが、ご遠慮無く厳しくご指導をお願い致します。

（教育研修部長 富田正郎）

### 基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、  
良質で安全な医療を目指します。

### 運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

### 患者様の権利

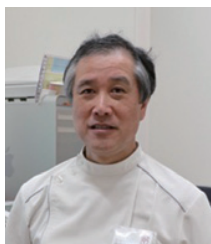
1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります



## 「リウマチ膠原病内科分野の病診連携」

熊本リウマチ内科

院長 坂田 研明



私事、熊本大学医学部第二内科に入局後、昭和63年10月に国立熊本病院（現熊本医療センター）内科に勤務。当時、内科の紫藤忠博先生、木村圭志先生、外科の川村亮機先生、水谷純一先生ら錚々たる諸先輩方から密度の高い薫陶を受けることが出来たことを覚えている。熊大病院へ戻った後は、主に膠原病内科の診療教育研究に従事し、西合志病院（現合志第一病院）勤務を経て7年前に北区で現在の『熊本リウマチ内科』を開業した。熊本医療センターは当時も今も変わらずエリア内の診療教育の基幹病院で

あり、とくに救急対応の受け容れの広さに加えて、幅広い専門診療にも拘わらず、その入院対応の柔軟さには診療所運営の立場上、この上なく頼もしく有り難い存在であり、深く感謝している。

関節リウマチ（RA）を含む膠原病内科の診療特質上、病態モニターの守備範囲は広く、とても一診療所の範囲内で留まるものではない。そのため幅広い病診連携が必要であることを日々痛感させられている。受診時の迅速な血液・生化学分析結果を前提とした判断が処方変更には必須であるため、その対応を院内で取っている。しかしフォロー中の急変病態、感染症を含む重篤な合併病態やその他の臓器併発症への対応には、どうしても専門分野の精査入院治療が要求される。開業からの7年間にも熊本医療センター救急部への時間外対応をお願いさせて頂いた忘れられない症例が幾つもある。例えば、翌未明に緊急手術となったRA高齢者の切迫破裂状態の化膿性虫垂炎、自己判断で1か月間放置されていたRA成人のDVT、強皮症患者の肺線維症に併発した肺炎等々。多忙にも拘わらず快くセンター入院を受け容れて頂いた担当の先生方が把握し易いように、時間が許す限り原疾患の発症当時から臨床経過をまとめて記述して紹介状を作成するように心掛けている。これからもエリア内の基幹病院としての病診連携に大きく期待している。

## 「周術期禁煙」 のお願い

当院では本年5月31日から敷地内完全禁煙となります。これに先駆けて、周術期患者さんに対して手術決定時からの禁煙を徹底していくこととなりました。紹介元の先生方に周知していただき、より早い段階から介入出来れば理想的です。また、希望される患者さんには禁煙外来開設施設への紹介も必要となってきます。先生方と連携を図りながら、患者さんがより良い状態で手術に臨み、合併症をできる限り減らし、早期に社会復帰していただくため、御協力をお願いいたします。

（麻酔科医長 古庄千代）

# 手術前には、まず



- point1 喫煙は手術の合併症を増やし、傷の治りも悪くします。
- point2 禁煙はいつから始めても合併症を減らす効果があり、早いほど有効です。
- point3 禁煙は手術後も継続することで、病気の経過を改善します。
- point4 受動喫煙も手術経過に有害です。家族が手術なら禁煙しましょう。

公財社団法人 日本麻酔科学会  
TEL:0907-9411-1111 熊本医療センター1-2-2 熊本医療センター1-2-2



## 就任のご挨拶



管理課長  
ふくだ しんや  
福田 信也

4月1日付で大牟田病院から管理課長で参りました福田でございます。

10年ぶりに熊本の地に帰って参りました。自宅からの通勤途上で、熊本城のいたる所の石垣が崩壊しており、熊本地震で甚大な被害を受けたことをあらためて感じております。ただ、今は熊本城の桜が満開で見物客の方々が来場されているのを見るとなぜかひと安心

します。

当院は、開放型病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、多くの医療機関の先生方のご協力のもと診療を行っております。また、当院で毎年開催されております開放型病院連絡会へは、多数の医療機関の先生方に参加いただいております。

今回、4月7～8日に新任職員宿泊研修が熊本県益城町のホテルで開催されました。高橋新院長の「当院における救急医療体制の構築の歴史」という演題で講演を拝聴しました。当院の歴史を伺い「24時間365日断らない医療」を目指し診療を行っていることに自分自身も身の引き締まる思いをいたしました。

新院長のもと微力ではありますが、一生懸命努力する所存でございますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



栄養管理室長  
よつもと ゆり  
四元 有吏

4月1日付で南九州病院より、配置換えで参りました。

熊本医療センターでは、15年ぶりの勤務となります。以前勤務していたときと建物だけでなく栄養士、調理師の構成も大きく変わり、戸惑っておりますが1日でも早く業務に慣れ患者様の癒しとなる食の提供に努めて参りたいと思います。

また、糖尿病友の会、公開講座等を通じて地域の皆様との情報交換や学び合いにも力を尽くしていきたいと思っております。今後とも何とぞご指導賜りますようお願いいたします。



経営企画室長  
まえだ こういちろう  
前田 光一郎

平成29年4月1日付けで経営企画室長として赴任して参りました前田でございます。

熊本医療センター勤務は2回目となります。熊本医

療センターの特徴として、地域医療機関の先生方との連携が密であること、365日24時間断らない救急医療の提供となっておりますが、私の職責である事務部門における医事の取り纏め役として、医事部門が地域医療機関の先生方にご迷惑をお掛けしない事は勿論のこと、連携を更に強化する方策はないのか考えていきたいと思っております。これまで築かれてきた地域医療機関の先生方との関係が更に強固となりますよう、微力ながら努力して参りますので、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副看護部長  
いのうえ のりこ  
井上 範子

平成29年4月1日付で福岡東医療センターより昇任でまいりました副看護部長の井上範子でございます。熊本医療センターでの勤務は6年ぶりとなります。生まれも育ちも熊本で、歩くと昨年4月の熊本地震の爪

あとが至るところに見られ、胸が痛みます。

しかし、一歩病院に入ってみると、職員は大きな局面を乗り越えることが出来、さらに連帯感が強まっているようにも感じます。その根底には「24時間、365日断らない医療」を実践し続けることができた自信にもなっているのではないかと思います。そして、それを為しているのは、地域の先生方のご協力による医療連携が円滑に機能しているからだ実感し、心強く感じています。

微力ではございますが皆様のご指導を頂きながら、これから地域医療連携の推進に力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 血管造影装置が更新されました

バイプレーンの新しい血管造影装置（東芝メディカルシステムズ社；Infinix Celeve-i）が今年度4月3日付で稼動し始めました。

バイプレーンとは、X線管球とフラットパネル（検出器）の対が2セット搭載されているシステムのことであり、一回の造影剤注入で2方向を同時に撮影することができます。シングルプレーンと比較すると、造影剤減量と被曝低減が可能であり、患者負担の軽減につながります。特に循環器内科や脳神経外科の分野ではバイプレーンで手技を行うことにより、より効率的に手技を行うことが可能となりますし、脳血管内治療などの最先端のカテーテル治療手技に対応できるようにもなります。

その他、従来装置と比較すると、透視画像の画質向上や被曝低減、CT like imageでのアーチファクト低減など全体的に性能が底上げされています。また付属のワークステーションでは3D処理や塞栓ガイドなどに即座に対応できるようになり、検査や治療



血管造影装置（東芝メディカルシステムズ社；Infinix Celeve-i）

の質が向上すると考えています。

今後はこの装置の性能を最大限に活かし、難しい症例や新たな治療手技が増えていくものと期待しています。（放射線科医長 根岸孝典）

## 食堂・売店が仮設棟へ移転します！

平成29年1月より始まった「病院増改修整備工事」の準備工事（Step 1：仮設棟建築）がまもなく終わろうとしています。これから先、既存の「食堂・売店棟」が取り壊される為、しばらくの間、今回建築した仮設棟に店舗を移転して仮営業を行います。既設棟及び仮設棟での食堂・売店の営業は下記のとおり予定しています。お間違いのないようご注意ください。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。「食堂・売店」共に、たくさんのご利用をお待ちしています。

（業務班長 朝重久緒）



仮設棟



### <スケジュール概要>

- ① 食堂（既設棟）  
平成29年4月18日（火） 閉店
- ② 食堂（仮設棟で営業）  
平成29年4月28日（金） 開店
- ③ 売店（既設棟）  
平成29年4月28日（金） 閉店
- ④ 売店（仮設棟で営業）  
平成29年5月1日（月） 開店



## 国際医療協力「JICA 研修」マレーシア国別

2017年3月20日に、マレーシアから10名の研修員が日本の高齢者医療・ケアを学ぶために来日しました。

マレーシアの高齢者人口は増加傾向にあり、このためマレーシア保健省は1996年に高齢者を対象とした保健医療制度／サービスを導入しました。そして今、提供する保健医療サービスを「エイジング・イン・プレイス」（高齢者が住み慣れた地域の中で暮らしていけること）の概念に基づいて実践していくことが課題となっています。

研修員は、地域医療施設において高齢者への医療・ケアにかかる政策・活動計画立案、事業実施、サービス提供などに携わる医師、看護師、作業療法士、理学療法士、ソーシャルワーカーで構成されました。地方自治体、大学、JICA、そして高齢者に真摯に向き合っている病院・施設の協力を得て、日本の高齢化社会の現状、介護保険制度の概要、そして今取り組まなければならない若者の負担減、労働力減少への対策などについて理解し、リハビリや認知症予防への取組みを学びました。そして、4月14日に帰国した研修員は、マレーシアのこれからの保健医療政策・施策を担っていくこととなります。

(国際医療協力 西 泰美)



閉講式直後の記念撮影



閉講式の様子



修了証書授与



研修員代表 Dr. Lee Tiong Sin の挨拶

## 臨床研修修了式が行われました

平成29年3月16日、臨床研修修了式が行われました。今年度は医科15名、歯科2名に対して河野文夫院長より修了証書が授与されました。医科は2年間、歯科は1年間の研修でしたが、全員本当に見違えるような成長を遂げました。これは、もちろん本人たちの努力の結果ではありますが、協力病院の先生方のご指導、患者様をご紹介していただいた登録医の先生方のご協力のおかげでございます。研修医のご指



修了証書と一緒に記念撮影



修了証書授与の様子

導に心より感謝申し上げます。

彼らは、4月以降さらなる成長を目指して、それぞれの専門の道へ進みます。きっとどこかで登録医の先生方のお世話になることがあると思いますが、その時にもどうぞよろしくご指導の程お願い申し上げます。

(教育研修科長 原田正公)

## 二の丸モーニングセミナーのご案内

本セミナーは研修医の教育のために行われている講義ですが、研修医だけではなく一般医師、コメディカル、看護師の皆様にも大変役に立つ内容となっています（これからの内容は以下の通りです）。年間を通じて毎週木曜日の朝8時15分より8時45分まで、当院の地域医療研修センターホールにて行っています。院外の医療関係者の皆様の御出席を歓迎いたします。

開催日	担当診療科	演者	テーマ
2017/ 5/ 4			祝日
2017/ 5/11	統括診療部長	渡邊健次郎	医療連携について
2017/ 5/18	臨床研究部長	芳賀克夫	医療安全について
2017/ 5/25	感染制御室長	水上智之	院内感染対策について
2017/ 6/ 1	腎臓内科部長	富田正郎	輸液療法について
2017/ 6/ 8	臨床検査科長	日高道弘	輸血療法について
2017/ 6/15	麻酔科部長	瀧賢一郎	血液ガスについて
2017/ 6/22	感染症科医長	小野 宏	抗菌薬の使い方
2017/ 6/29	循環器内科医長	宮尾雄治	心電図の読み方
2017/ 7/ 6	院内警備統括担当者	西村一弥	院内暴力と対処法
2017/ 7/13	企画課専門職	川野智史	クレーム対応
2017/ 7/20	救急医療支援担当者	後藤達広	防災の心構え
2017/ 7/27	救急科医長	北田真己	災害医療について
2017/ 8/ 3	麻酔科部長	瀧賢一郎	人工呼吸器管理について
2017/ 8/24	放射線科医長	根岸孝典	画像診断
2017/ 8/31	外科医長	水元孝郎	外傷初期診療
2017/ 9/ 7	循環器内科	藤本和輝（仮）	循環器内科疾患（仮）
2017/ 9/14	心臓血管外科	岡本 実（仮）	心臓血管外科疾患（仮）
2017/ 9/21	呼吸器内科	名村 亮（仮）	呼吸器内科疾患（仮）
2017/ 9/28	脳神経外科	大塚忠弘（仮）	脳神経外科疾患（仮）
2017/10/ 5	神経内科	田北智裕（仮）	神経内科疾患（仮）
2017/10/12	消化器内科	杉 和洋（仮）	消化器内科疾患（仮）
2017/10/19	外科	宮成信友（仮）	外科疾患（仮）
2017/10/26	産婦人科	西村 弘（仮）	産婦人科疾患（仮）
2017/11/ 2	泌尿器科	菊川浩明（仮）	泌尿器科疾患（仮）
2017/11/ 9	医療安全係長	堂園千代子	リスクマネジメントからのフィードバック
2017/11/16	九州グループ院内感染対策研修会		
2017/11/23	勤労感謝の日		
2017/11/30	薬剤部長	中川義浩	薬剤部からのフィードバック
2017/12/ 7	病理診断科部長	村山寿彦	
2017/12/14	腎臓内科	富田正郎（仮）	腎臓内科疾患（仮）
2017/12/21	糖尿病・内分泌内科	西川武志（仮）	糖尿病・内分泌内科疾患（仮）
2017/12/28	血液内科	日高道弘（仮）	血液内科疾患（仮）
2018/ 1/ 4	総合診療科	辻 隆宏（仮）	総合診療科疾患（仮）
2018/ 1/11	救急科	原田正公（仮）	救急科疾患（仮）
2018/ 1/18	腫瘍内科	境 健爾（仮）	腫瘍内科疾患（仮）
2018/ 1/25	放射線科	吉松俊治（仮）	放射線科疾患（仮）
2018/ 2/ 1	精神科	渡邊健次郎（仮）	精神科疾患（仮）
2018/ 2/ 8	小児科	森永信吾（仮）	小児科疾患（仮）
2018/ 2/15	皮膚科	牧野公治（仮）	皮膚科疾患（仮）
2018/ 2/22	整形外科	橋本伸朗（仮）	整形外科疾患（仮）
2018/ 3/ 1	形成外科	大島秀男（仮）	形成外科疾患（仮）
2018/ 3/ 8	耳鼻咽喉科	上村尚樹（仮）	耳鼻咽喉科疾患（仮）
2018/ 3/15	歯科口腔外科	中島 健（仮）	歯科口腔外科疾患（仮）
2018/ 3/22	教育研修科長	原田正公	臨床倫理

※平成29年度から開催時間が8時15分から8時45分までに変更になりました。



<問い合わせ先>

国立病院機構熊本医療センター

教育研修科長 原田 正公

電話 096-353-6501（代表）、Eメール: masakoh@kumamed.jp

## 最近のトピックス

### 両側同時下肢手術

—人工関節手術、高位脛骨骨切り術—



整形外科医長

平井 奉博

当院では2013年10月より県下でいち早く、人工関節置換術と骨切り術で、両側同時手術を始めました。

現在までで、人工膝関節全置換術：36例、人工膝関節部分置換術：6例、高位脛骨骨切り術：7例、人工股関節全置換術：14例、の合計63例施行しております。

これらの手術は通常、片側ずつ時期をずらして手術をすることが一般的ですが、非手術側の疼痛が残存し、リハビリが進まないままで転院される方が多く見られたため、現在は全身状態に問題がなければ、両側同時に手術をお勧めするようにしています。

両側同時の手術は全国的に行われるようになっていますが、現在熊本では当院のみです。両側同時で手術を行えるようになったのは、手術技術の向上により、手術時間の短縮、出血量の減少と疼痛コントロールができるようになったこと、そして、術後ADL制限を必要とせず、リハビリを積極的に行わなくてもよくなったためです。

#### 【退院転院】

当初は片側のみの手術に比べてリハビリ進行は遅れるのではないかと予測していましたが、実際は術後3日目以降片側とほとんど変わらないリハビリ進行となっており、20%の方は術後3週間以内での自宅退院が可能となっています。退院が難しい方やしっかりとしたりハビリをご希望される方は、術後2週～3週での転院をお願いしています。

#### 【まとめ】

両側同時下肢人工関節手術は、両側の疼痛が強く、片側のみの手術ではリハビリ進行に支障が予想されれば、重篤な合併症がない限りどなたでも適応となります。人工関節の手術やリハビリの進歩工夫で患者さんの身体的負担は軽減してきており、一度の手術で済むことによる、患者様の経済的負担軽減にもつながっており、今後も両側同時での手術は増えてくると思われます。



人工膝関節全置換術



人工股関節全置換術



## 新任職員紹介



外科医長

くらしげ じゅんじ  
藏重 淳二

本年4月より、外科に勤務させていただいております。熊本医療センターでは、後期

研修医時代にまだ古い建物とときに2年間働いており、今回約10年ぶりにお世話になることになりました。胃、大腸を中心とした消化管外科疾患の診療に従事しています。消化器疾患にお困りの患者さんに最適な医療を提供できるよう、日々研鑽してまいります。また、病気の治療はもちろんですが、患者様の心に寄り添えるような医療を提供したいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

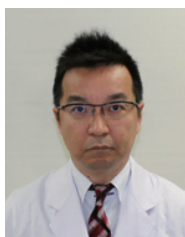


外科医長

みま こうすけ  
美馬 浩介

平成29年4月より外科で勤務させて頂く美馬浩介と申します。平成17年に熊本大学医学部を卒業し、平成19年に熊本大学大学院消化器外科学に入学しました。

熊本大学大学院消化器外科および関連施設で消化器外科医としての修練を積み、九州大学への国内留学、米国への海外留学を経験して参りました。消化管および肝臓、胆道、膵臓領域の良性、悪性疾患に対する手術療法を専門に行っていきたいと考えています。一人一人の患者さんに最適な治療法を提供できるように、また病気に直面されている患者さんが安心して治療を受けられるように日々努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願致します。

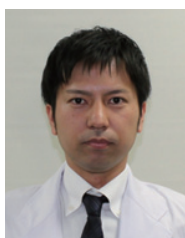


脳神経外科医長

なかかわ たかし  
中川 隆志

本年4月より脳神経外科で勤務することになりました。中川隆志と申します。平成22年4月から1年間当院

で勤務させていただき、7年ぶりに戻ってくるようになりました。脳血管障害を専門にしていますが、熊本県は脳血管内治療が全国的に見てまだ発展途上の段階です。そのような中、当院では今年度から新たにバイプレーン血管造影装置が稼働しており、コメディカルスタッフの協力をいただいて、熊本県の脳血管内治療の礎の一部を築くことができると考えています。精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

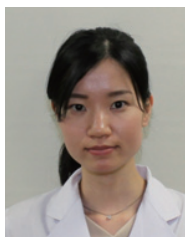


麻酔科

まつかわ ひでかず  
松川 豪策

平成29年4月より麻酔科で勤務させて頂く松川豪策と申します。平成19年に熊本大学を卒業し、21年に熊本大学麻酔科に入局、大学病院、熊本日赤勤務後、23

年に一年間当院でお世話になりました。そして今回、6年振りに当院に戻ってくるようになりました。熊本地震後、救急患者数は一段と増加していると思っておりますが、早く正確な麻酔を心掛け、当院の基本理念である断らない救命救急を実践できるように努力して参ります。また、当院麻酔科が積極的に導入している末梢神経ブロックについても手技向上を目指し、患者さんの周術期管理、予後改善に役立つよう精進していこうと思っております。どうぞよろしくお願致します。



麻酔科

いりえ ちえこ  
入江 知恵子

熊本労災病院麻酔科から参りました、入江知恵子と

申します。初期研修医として2年間勤務した当院に異動となり、身の引き締まる思いですが、ご指導いただいた先生方・お世話になったコメディカルスタッフの方々と再び働けることをとても楽しみにしております。まだまだ修練中の身ではありますが、熊本の医療に少しでも貢献出来るよう努力して参ります。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

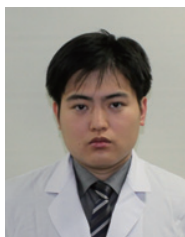


# 新任職員紹介



血液内科  
みつ い のり かず  
**三井 士和**

本年4月より、血液内科に異動となりました三井士和と申します。これまで済生会熊本病院 腫瘍内科にて主に固形腫瘍の化学療法を行っておりました。この度は熊本医療センターで血液腫瘍の治療を学び、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



血液内科  
うえ の みつ のり  
**上野 満徳**

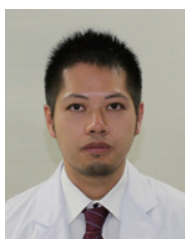
平成29年4月より異動となりました、上野満徳と申

します。

これまで熊本大学医学部附属病院血液内科、同集中治療部、くまもと森都総合病院などを経て、この度こちらへ赴任する機会を頂きました。

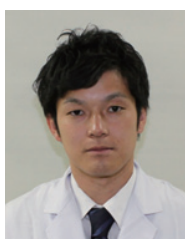
若輩ではありますが、精一杯皆様の笑顔のために尽力致します。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科  
く ぎ やま なお たか  
**久木山 直貴**

平成29年4月より消化器内科にて勤務させていただきます、久木山直貴と申します。救急領域を中心とした疾患だけでなく、癌に対する診断や治療に対応できるように精進したいと思います。患者様に分かりやすい言葉で説明し、最善の治療ができるように精一杯頑張っていきます。これからよろしくお願いいたします。



形成外科  
うえ き はら たつ や  
**上木原 達哉**

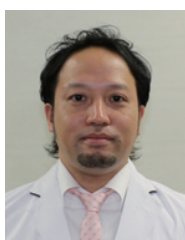
はじめまして。4月より国立病院機構熊本医療センターで形成外科医として勤務させていただきます上木原達哉と申します。出身は熊本で熊本高校、宮崎大学医学部を卒業し、福岡大学形成外科に入局し、今回福

岡大学からの派遣で勤務させていただくこととなりました。

出身である熊本で働くことができ、大変嬉しく思っております。

昨年は熊本県にとっては熊本地震が起こるという大変な年となり、現在もその影響で苦しんでおられる方もたくさんいらっしゃると思います。微力ながら、少しでも大好きな熊本県の力になればと思っております。

まだまだ未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。



眼科  
ふくしま こう き  
**福島 巨希**

この度、熊本医療センター眼科に赴任しました、福島巨希と申します。4年前、初期研修医として当院に来た日のことを、つい最近のことのように感じます。

医師として多忙な日々を送っているうち、あっという間に月日が流れ、気付けば研修を終了し、熊本大学眼科に入局して早2年が過ぎました。医師としての基礎を学ばせていただいた当院で再び働けること、また研修時にお世話になった先生方への恩返しの機会に恵まれたことに、感慨深い思いでいます。

まだまだ知識も経験も少なく、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、全力を尽くして研鑽を積んでいきますので、何卒よろしくお願いいたします。

# 増改修整備工事(解体工事)に伴う、一方通行について(お知らせ)

◆期間：平成29年4月20日～平成30年10月31日(予定)◆

解体工事等が始まることに伴い、上記の期間について一方通行となります。お帰りの際は、必ず、北側(二の丸公園側)からお帰りください。誘導員の指示に従い、院内については徐行運転をお願いいたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願い致します。





# 研修のご案内

## 第1回 診断と治療－最新の基礎公開講座－

〔日本医師会生涯教育講座2単位認定〕

日時▶平成29年5月13日(土)15:00～17:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長：天草郡市医師会立 天草地域医療センター総院長 植村正三郎 先生

演題：「意識消失」

1. 意識消失をきたす心疾患 国立病院機構熊本医療センター循環器内科部長 藤本和輝
2. 神経内科からみた意識消失の考え方 国立病院機構熊本医療センター神経内科医長 田北智裕

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通) FAX 096-352-5025(直通)

## 第219回 月曜会(無料)

(内科症例検討会)

〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶平成29年5月15日(月)19:00～20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1. 内科症例検討 診療で遭遇した興味ある症例の検討を行います。

〔第1症例 膜性増殖性糸球体腎炎の1例〕

国立病院機構熊本医療センター腎臓内科

樋口賢太郎

〔第2症例 下肢静脈血栓症と悪性腫瘍〕

国立病院機構熊本医療センター腫瘍内科医長

山本春風

2. ミニレクチャー「消化器内科のトピックス」

国立病院機構熊本医療センター消化器内科

中垣貴志

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線、心電図、その他がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター教育研修部長 富田 正郎 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

## 第125回 総合症例検討会(無料)

〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶平成29年5月17日(水)19:00～20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

テーマ『32歳男性の呼吸苦』

(32歳 男性)

臨床担当) 国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長

片山哲治

病理担当) 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部病理研究室長

村山寿彦

「生来健康であったが1年前にうっ血性心不全にて入院歴有り、入退院を繰り返している。」

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通)

## 第153回 救急症例検討会(無料)

日時▶平成29年5月24日(水)18:30～20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

テーマ：「けいれん」

国立病院機構熊本医療センター小児科医長

森永信吾

国立病院機構熊本医療センター神経内科医長

田北智裕

事前参加のお申し込みは必要ありませんので、ご自由にお越しください。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通)

## 第187回 三木会(無料)

(糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会)

〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

〔日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定〕

日時▶平成29年5月25日(木)19:00～20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1. 「血糖管理不良糖尿病の注意点：インスリンボールを調べよう」

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科

岩村一輝

2. 「熊本地域糖尿病療養指導士(CDE-Kumamoto)のご紹介」

熊本大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科助教

石井規夫 先生

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長 西川 武志 TEL 096-353-6501 (代表) 内線5441

## 第90回 特別講演(無料)

〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶平成29年5月31日(水)19:00～20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長：国立病院機構熊本医療センター副院長

清川哲志

「熊本大学が目指す循環器先進医療」

熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授

辻田賢一 先生

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター TEL 096-353-6501 (代表) 096-353-3515 (直通)

# 2017年 研修日程表 5月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

二の丸モーニングセミナーの時間帯が、平成29年度より、8：15～8：45に変更されます

5月	研修センターホール	研修室
1日(月)	13：00～16：00 新人看護師技術研修	
2日(火)		
3日(水)		
4日(木)		
5日(金)		
6日(土)		
7日(日)	9：00～13：40 第14回 熊本PEECコース	
8日(月)		
9日(火)	9：00～10：30 新人看護師技術研修 13：00～14：30 //	
10日(水)	18：00～19：30 第104回国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会(公開)	
11日(木)	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー 「医療連携について」 国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 渡邊 健次郎 18：30～20：00 熊本県臨床衛生検査技師会一般検査研究班月例会	
12日(金)		15：30～16：45 肝臓病教室(研2) 「肝臓について」
13日(土)	15：00～17：30 第1回 診断と治療 -最新の基礎公開講座- 「意識消失」 [日本医師会生涯教育講座2単位認定] 座長 天草郡市医師会立天草地域医療センター総院長 植村 正三郎 先生 1. 意識消失をきたす心疾患 国立病院機構熊本医療センター循環器内科部長 藤本 和輝 2. 神経内科からみた意識消失の考え方 国立病院機構熊本医療センター神経内科医長 田北 智裕	
14日(日)	9：00～12：30 熊本県滅菌消毒法講座 講演I「洗浄の基礎知識」 講演II「滅菌の基礎と滅菌装置の知識」	
15日(月)		19：00～20：30 第219回 月曜会(内科症例検討会)(研2) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]
16日(火)		
17日(水)	19：00～20：30 第126回 総合症例検討会(CPC) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]	
18日(木)	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー 「医療安全について」 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部長 芳賀 克夫 14：00～15：00 第50回 市民公開講座 「卵巣がん・遺伝性乳がん卵巣がんについて」 国立病院機構熊本医療センター産婦人科医師 山本 直	
19日(金)	19：00～21：00 摂食嚥下特別講演会 「誤嚥性肺炎と摂食嚥下障害」 元筑波大学附属病院呼吸器内科教授 寺本 信嗣 先生	
20日(土)	9：00～17：00 第96回 救急蘇生法講座 ～二の丸ICLSコース～ 講師 国立病院機構熊本医療センター救命救急センター長 原田 正公 ほか	
21日(日)		
22日(月)		
23日(火)	18：30～20：30 血液研究班月例会	19：00～21：00 小児科火曜会(研1)
24日(水)	18：30～20：00 第153回 救急症例検討会 「けいれん」	
25日(木)	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー 「院内感染対策について」 国立病院機構熊本医療センター感染制御室長 水上 智之 18：30～20：00 熊本県臨床細胞学会<第1回症例検討会>	19：00～20：45 第187回 三木会(研2) (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]
26日(金)		
27日(土)		
28日(日)		
29日(月)		
30日(火)		
31日(水)	19：00～20：30 第90回 特別講演 [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 「熊本大学が目指す循環器先進医療」 熊本大学大学院生命科学部循環器内科学教授 辻田 賢一 先生	

研1～3 2階研修室1～3

※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ(<http://www.nho-kumamoto.jp/>)をご参照ください。

問い合わせ先 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター TEL 096-353-6501(代) 内線2630 096-353-3515(直通)